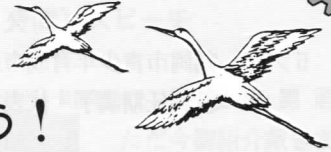




ENJOY ROTARY!



ロータリーを楽しもう!

会長 高橋良士 幹事 佐々木 詰彦 クラブ奉仕 佐藤 衛 職業奉仕 忠鉢 徹 社会奉仕 斎藤 昭 国際奉仕 塚原初男 青少年奉仕 加藤 賢

出席報告:会員 90 名 出席 64 名 出席率 74.03 % 前回出席率 64.94 % 修正出席数 73 名 確定出席率 84.42 %

会 長 報 告

高橋良士君

5月20日(日)は親睦委員会の主催で家族会が行われましたが、幸いなことに五月晴れに恵まれて、午前8時30分、物産会前を出発し、残雪にはえる「ぶな」の原生林、こぶしと山つつちが満開の景観を眺めながら湯殿山を参拝いたしました。

次いで昨年10月から「試験たん水」が始まりました寒河江ダムを見学しましたが、ダムサーチャージ水位、……最高貯水位のことだそうです、海拔400m、水位92mに丁度到達しております、この水位は試験的に水を貯める時しか見られないという事で又とないチャンスに恵まれましたが、朝日連峰と月山に囲まれて青々として水をたたえた人工湖「月山湖」は実に雄大で御座居ました。

西川町の「玉貴」で清流の音をききながら旬の山菜料理を堪能いたしました午後からは月山酒造資料館、寒河江の名刹「慈恩寺」を見学し、まさに清遊の1日を過ごすことが出来ました。

今回は丁度親睦委員長の中沢さんが御栄転のため退会されたばかりでしたので、親睦委員会の佐藤順治さんが御一人で御世話をしていただき、本当に有難う御座居ました。心から感謝申し上げます。

先週の例会で御報告いたしました立川クラブがホストとなりまして余目高校へオーストラリアから交換学生として留学しておりますデブラ・ジャミスンが5月9日に急性虫垂炎となり私が手術いたしました、その後の経過は順調で先週の土曜日元気で退院いたしましたので併せて御報告いたします。

幹 事 報 告

佐々木 詰彦 君

◎ 来 信・通 知

① 5/16 ライラ研修会へのお礼状

郡山RC

② 5/17 ライラ研修会へのお礼状

福島西RC 熊谷京一氏

ENJOY LIFE

私 の 趣 味

宇野謙治

私の趣味の一つですが、10年程前にあるきっかけで帆船作りを始めましたが、最初の一隻は図面の読み方も分からず苦勞の連続でした。毎日手掛けるのではないため一隻を完成させるのに半年も掛り、でき上がると楽しさが湧いてきます。製作中は無我夢中で「家族との断絶」がしばしば起こりました。現在は单身生活を送っ

ておりますので、このような事は起こらないので精魂込めて取り組んでいます。また一番嬉しかったのは、昨年の春に朝日新聞日曜版で紹介されたことです。これにより更に製作意欲が増してきているのが現況です。

どのような出来映えかをご講評頂くためにも、お時間がございましたら、当社ショールームに展示してありますので、ぜひ一度足を運んで頂きご覧いただければ幸甚と存じます。

エンジョイライフ

久米允彦氏

- ③ 5/16 鶴岡市青少年育成市民会議
役員任期満了・代表者推薦依頼
市社会課児童係
- ④ 5/17 シンポジウム協力への礼状
農村地域と国際交流シンポジウム
実行委員会
- ⑤ 5/18 ロータリー研究集会案内
6/9～10 蔵王温泉太平ホテル
東根奥羽千種会
- ⑥ 5/19 次年度の支出について「クラブ計
画及び目標の要約」6/17持参
公式訪問等について照会
次年度分区代理
- ⑦ 5/19 ガバナーノミニ
ー
佐久間有寿氏 略歴
ノミニニ事務局

◦会報到着
山形RC 山形西RC

◎ 例会変更

・温海クラブ 5/28&6/11の例会は
会場を、温海町商工会館に変更
6/4の例会は20周年記念式の
ため

日 時 6月3日(日)

時 間 11:00点鐘

会 場 万国屋

・酒田クラブ 5/30(水)はIACと合同
例会のため

日 時 5月31日(木)

時 間 午前5:30 集合

場 所 日枝神社

例 会 日和山会館(雨天決行)

時 間 午前6:30 点鐘

会員スピーチ

私の「リメンバー、パールハーバー」

三井賢二君



昭和16年12月7日、
真珠湾は太平洋戦争幕開
けの場となり、私達本人
には、忘れられない名前
となりました。日本を包
囲する、A、B、C、D
ラインは、日本をして武
力により国家の利益を守

ることしかないと言う悲壮な境地においやりました。東条英機大将が同年10月に首相の座について、この戦争は決定的なものとなりました。山本五十六提督は、米国のような大国を相手の勝利は奇襲攻撃によるもの以外ないと確信し、軍事上の理由から真珠湾を、その奇襲の場として選択しました。

昭和16年12月7日の未明、野村、東栖の両大使は、「ワシントン」で米国側と交渉中でしたが、その頃33隻からなる日本の機動部隊は、「オアフ島」北方200マイルの地点に進航し、353

機の日本の艦載機は、真珠湾に停泊中の米国太平洋艦隊を撃滅せんと発進中でした。午前6時航空母艦から第一次の183機が、飛び立ち、続いて午前7時15分に、第二次の170機が飛び立ち真珠湾に猛攻をかけました。「オアフ島」の空に接近した飛行隊は、3編隊に分かれ、東西北方より奇襲をかけました。当時停泊中の戦艦「アリゾナ」を含む94隻のうち、18隻が撃沈又は撃破しました。この攻撃の結果、米国将兵の戦死者は、3,067名に達し、日本軍の戦死者は55名でした。然し、この奇襲は、米国民を団結させ、どの地域社会でも、「リメンバー、パールハーバー」を合言葉として戦争目的遂行に挙国一致し、遂に20年8月、日本の無条件降伏と言う絶対的勝利を米国にもたらしたのであります。



委員会報告

ローターアクト委員会

委員長 秋野 忠君

いつもRACに対し、御協力戴き、感謝しております。今日はRACの赤谷会長、西方幹事が、チャリティーバザーのお願いと色々のお礼におみえです。

RACも日々活動が活発化し、来年は、30名にしたいと考えております。企業の皆様からも、どなたか御推薦を戴ければ有難いと存じます。よろしくお願い致します。

ローターアクトクラブ

(RAC) 会長挨拶

RAC会長 赤谷 恭彦



日頃皆様からご支援を戴きまして有難うございます。今日は、先日の年次大会に2名郡山に派遣して戴いた事、ライラ研修会に4名参加させて戴いた事に対し、お礼申し上げに参りました。参加した人は皆感激して帰って参りました。

また、本日はお手元にプリントをお配り致しましたが、7月上旬チャリティーバザーを行う事になりました。何分メンバーが少なく大きな事は出来ませんが、皆様のお力を持って成功させたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

◎ ゲスト (3分間) スピーチ

川崎RC 保坂民男君



ただ今御紹介戴きました保坂でございます。貴重な時間を割いて戴き、有難うございます。御地には、出張で参っております。当地は、自然に恵まれた大変いい所と思っております。

川崎は、東京、横浜に挟まれた工業都市で暗いイメージがありましたが、現在は工場もクリーンになり、大変明るくなりました。人口も100万人を越え、政令都市になっております。川崎大師もございますので、東京へお起こしの際は是非川崎にもお立寄り下さい。本日は有難うございました。



ロータリー財団寄付額

¥ 9,808

ビジター

保坂民男君(川崎RC)

長谷川 順一君(鶴岡東RC)

29日(火)のプログラム予定

ゲストスピーチ

鶴岡市長 斎藤 第六氏

== 1990～1991年度 253地区協議会報告 ==

次期会長 佐藤 昇君

分割前最後の地区協議会に行って参りました鶴岡クラブからは義務出席7名と国際奉仕部会の副リーダー新穂光一郎さんの8名が出席しました。

第1日目 5月12日(土)
3時～4時30分迄
会長、幹事会
於 磐梯熱海ホテル華の湯

第2日目 5月13日(日)
9時～10時20分迄 本会議
於 総合レクリエーション施設
郡山ユラックス

10時50分～1時50分迄 分科会は2日以上に分かれて、会長部会(佐藤昇)財団部会(毛呂健士君)は郡山ユラックスで、幹事部会(高田耕助君)クラブ奉仕部会(迎田稔君)職業奉仕部会(秋野昭三君)社会奉仕部会(石井敬三君)国際奉仕部会(荒井宏明君)は磐梯グランドホテルでした。

・会長部会の報告

1. 会員増強について

主として会員30名以下のクラブと50名前

後のクラブが、対象で10～15%の増強を目指してほしい。

女性会員が増える傾向にある。福島中央クラブが新しく出来て男性会員22名女性会員4名がチャーターメンバーで7月からスタートします。

フィリピンには女性だけのクラブが出来たそうです。

会員が多過ぎてコミュニケーションがとりにくいか会場が狭くなって困っているクラブは新クラブの誕生を考えて下さい。

2. ロータリー財団について

ポリオプラス最終年度なので目標達成につとめて下さい、また鶴岡クラブはロータリー財団寄付額10,000%達成で表彰状を貰って来ました。

3. 青少年奉仕活動について

来年のライラ研修会は5月17日、18日、19日の3日間猪苗代国立磐梯青年の家で開催されます。

4. 環境保全について

この秋に開催される地域年次大会には地域としてもイベントを考えるが、各クラブでも

1990学年度 地区別奨学生割当数 (試案)

1	2	3	4	5	6	7
ブロック	地区	継続者数	1990年度 申込者数 *見込み	申込者による 百分比	地区別個人 平均寄付額 (87年度)	平均寄付額に 百分比
1	250	1	2名	0.20%	4,528	1.53%
	251	2	9	0.89	4,953	1.67
2	252	9～12	49	4.83	3,465	1.17
	253	2	6	0.59	3,879	1.31
	254	2	4	0.39	4,632	1.56
計		157～214	1,014	100.02	10,328	99.99

1990(平成2)学年度奨学生数は、520名にSY-1の15名、SY-OB部門10名、理事長枠5名を加えて、なお、上記奨学生数の他にCY若干名を採用する。

注: DisY-Bの採用可能数は、11欄の数字の10%以内(少数点以下繰り上げ可)であって、DisY-A

環境保全委員会の様なものを作って植樹等に
力を入れて下さい。

吉岡丹伽穂（老人問題）
今泉信一郎（青少年問題）

次期クラブ奉仕委員長 迎田 稔君

- リーダー九里茂三がバナー
クラブ内部の強化育成に努力すること
年度の重点目標の基本理念をどう生かすか。
各小委員会の調整について
- 小野姓広副リーダー（いわき市）
会報の広報・雑誌委員会の活動についてのアド
バイス
- 伊東政一副リーダー（酒田）
クラブ拡大について、酒田中央・酒田スワンのク
ラブを設立されて経過をふまえての解説
- 土屋繁一副リーダー（郡山南）
自らの体験の中から学ばれたロータリー活動全般
について

質疑の中で個人の奉仕から団体の奉仕（ポリオ
プラス）にR.Iの理念が代りつつあるかとの問
いに、いくらかその傾向があるとの答えでした。

次期社会奉仕委員長 石井 敬三君

日 時：90年5月13日 AM 10:30 分開始
リーダー：高坂知甫PG
副リーダー：岡部新一郎（環境問題）

経 過

初めに高坂PGから、ロータリーに於けるシカ
ゴでの初期社会奉仕の生立ちと発展、問題展開に
つき話があり、ロータリーの社会奉仕について記
載されている手続要覧23-34決議も、一時消滅し
た事があった等の話が30分程あった。

次に吉岡副リーダーより老人問題に関し、62年、
自クラブに高齢者委員会を設置したが、何をすべ
きか暗中模索している内に一年が過ぎ、次年度も
試行錯誤に終わった苦しい経験を述べ、大変運営
が難しいが、「高齢者が生きがいを持てる状況作
る手伝い」が、ロータリーに於ける老人奉仕で
はなだろうか、と自分の老母の生き方に触れ、老
人の自己開発の事例を話された。その後、質疑が
2、3あったが省略する。

12時、昼食30分をはさみ12時30分より、岡部副
リーダーより環境問題に関し、グローバルな観点
から、大気汚染、水質汚濁、自然保護、薬物汚染、
ゴミ処理等の環境問題を始め自動車、カラオケ騒
音まで、各クラブにおける、それら諸問題を踏ま
えた対応が必要と述べた。R.Iでは、南米、東南
アジア、ヨーロッパなど樹木の伐採、又はCO2
による樹木の枯死を重視し、緑の復活を世界的に
呼びかけるべく、具体的な方策を検討していると

8	9	10	11	12	13	14
割当数 申込者 50%:260名	520名 平均寄付額 50%:260名	8 + 9	1990学年度 割当数	新規採用者数	割当数1989	会員数 (87年度)
0.52名	3.98名	4.50名	4名	3名	2名	2,957名
2.31	4.34	6.65	7	5	7	3,727
12.56	3.04	15.60	16	7~4	15	3,186
1.53	3.41	4.94	5	3	5	4,277
1.01	4.06	5.07	5	3	5	3,245
260.02	259.98	520.00	520	363~306	475	103,777

50名とする。

、Dis-Bの数は12欄の新採用者数に含まれる。

の事であった。

次に、今泉副リーダーが青少年問題、特に、ローターアクトの在り方に関し、自分の病院に来るインターンなど若い人々の思考癖を例に縷々話したが、散漫で儘った意見発表にはならなかった。

その後20分程の時間に、参会者の質疑応答があったが、時間切れで特に記す程の事はなかった。

1時50分、分科会は終了した。全般を通じ、リーダー、副リーダーの冗漫な時間使用で、参会者の意見発表の時間が足りなかったのは、何のための分科会か判らなかったのは残念であった。

次期国際奉仕委員長 荒井宏明君

標記の件、下記の通りご報告申し上げます。

1. 冒頭地区国際奉仕部会リーダー松永輝彦氏より国際奉仕とは何か、国際奉仕委員会の歴史、役割等について本人の個人的体験談等を折り込みながら説明された。

〈国際奉仕委員会の担う役割〉

- (1) 国際青少年交換
- (2) 世界社会奉仕

財団法人ロータリー米山記念奨学金 寄付金納入明細書

253地区

クラブ名	年間1名当り	1989/07月～1990/03月 期間入金分		
		普通寄付金	特別寄付金	合計
余目	(半) 1,000	29,000	0	29,000
朝日	2,000	64,000	0	64,000
温海	2,000	83,000	0	83,000
東根	2,500	118,500	0	118,500
上ノ山	2,000	36,000	37,000	73,000
		振 37,000	振 - 37,000	
最上	2,000	29,000	0	29,000
村山	2,000	82,000	0	82,000
長井	2,000	110,000	0	110,000
中山	2,000	26,000	0	26,000
南陽	(半) 1,000	49,000	0	49,000
尾花沢	2,000	78,000	0	78,000
小国	2,000	46,000	0	46,000
大江	2,000	68,000	0	68,000
寒河江	2,000	133,000	0	133,000
酒田	2,000	95,000	0	95,000
酒田東	2,000	127,000	300,000	427,000
新庄	3,000	112,500	0	112,500
白鷹	2,000	71,000	0	71,000
立川	2,000	62,000	0	62,000
高畠	2,000	91,000	0	91,000
天童	2,000	133,000	900,000	733,000
			返 - 300,000	
鶴岡	3,000	262,500	0	262,500
鶴岡西	2,000	103,000	0	103,000
山形	2,000	147,000	300,000	447,000
山形北	2,000	172,000	150,000	322,000
山形南	2,000	166,000	0	166,000
山形西	2,000	208,000	0	208,000
山形辺	2,500	130,000	0	130,000
八幡	2,000	40,000	0	40,000
米沢	2,000	99,000	0	99,000
米沢西	2,000	82,000	0	82,000
遊佐	2,000	41,000	210,000	251,000

注：返は返金 振は振替

(3) 国際的な特別月間と催し

(4) 国際的会合への出席

(5) ローター財団

2. 次に地区国際青少年交換小委員会委員長の新穂副リーダー及び副委員長の小檜山副リーダーより253地区における交換学生の受入、派遣状況、1990年度の受入計画（今後交渉予定分を含む）。併せて現状の受入、派遣に関する問題点等について説明された。

〈現状の受入及び派遣相手国〉

・アメリカ合衆国（コロラド州、テネシー州等）

・オーストラリア

次年度253地区より現在8名の応募あり

・カナダ（カルガリー、バンフー等）あり

全般的傾向として日本からの応募者数は年々多くなっており、逆に海外からの日本への応募者は円高ドル安等により少なめになっている。

3. 次に地区世界社会奉仕小委員会委員長の長沢副リーダーよりWCS(World Community Service=世界社会奉仕)の活動概要について説明され残り時間全般的質疑応答の後閉会となった。

以上

平成2年3月31日現在

1990年3月31日現在（単位：円）

過去累計分		
普通寄付金	特別寄付金	合計
695,100	330,000	1,025,100
1,008,000	0	1,008,000
1,262,500	0	1,262,500
1,987,700	360,000	2,347,700
1,503,650	0	1,503,650
465,500	0	465,500
1,548,350	300,000	1,848,350
1,578,600	0	1,578,600
263,000	30,000	293,000
1,661,750	0	1,661,750
1,056,300	0	1,056,300
651,500	100,000	751,500
1,273,800	0	1,273,800
1,964,900	900,456	2,865,356
1,725,600	0	1,725,600
1,742,500	1,200,000	2,942,500
2,008,800	36,000	2,440,800
1,167,850	605,000	1,772,850
695,500	0	695,500
1,407,500	0	1,407,500
1,947,500	5,251,000	7,198,500
3,189,000	2,868,280	6,057,280
1,271,200	38,900	1,310,100
2,397,500	1,200,000	3,597,500
1,965,500	564,000	2,529,500
1,951,000	1,001,000	2,952,000
1,779,400	300,000	3,079,400
1,740,000	0	1,740,000
779,000	0	779,000
2,092,200	3,334,000	5,426,200
1,405,400	0	1,405,400
1,003,500	1,710,000	2,713,500

253地区 寄付金納入明細

順位	クラブ名	寄付金合計額 (千円単位)
1	いわき平	10,807
2	会津若松西	8,302
3	天童	7,198
4	鶴岡	6,057
5	福島	6,035
6	白河	5,971
7	米沢	5,426
8	飯坂	5,030
9	郡山南	4,731
10	会津若松南	4,622

次期職業奉仕委員長 秋野昭三君

出席者 次期職業奉仕委員長 93名
リーダー パストガバナー 田中善六君
副リーダー (郡山西) 石川博之君

リーダー説明

職業奉仕の規定

RC手帳、手続要覧の定款の中の綱領第2を読んで下さい。

ロータリーも歴史と共にいろいろ変遷を重ねてきております。

規定もそれに伴って変わってきておりますので新しい資料を利用して下さい。

職業奉仕の推進

まずロータリーを知ることが大事です。

これを知るものは、これを楽しむものに如かずです。

職業奉仕は多くの要望に職業を通して満たしてやることです。

原子爆弾の製造、最近では自然環境保護の問題などもクローズアップされてきております。

四つのテストに照らしてみても本当に我々の幸せにつながっているのだろうか、今こそ職業奉仕を考え実践する時です。

個人個人の奉仕からクラブでも力を込めて一緒になってやる時です。

「本宮の水」というロータリアンの書いた本が最近発刊されました。研究者という職業を通じ、住民の飲料水の水源を汚染から守り抜いた実践記録です。職業奉仕の良い事例ではないでしょうか。

石川副リーダー

新方針、パンフレット、事例集等の説明

リーダー

職業奉仕については、東北からも立派な発表がなされています。

昭和45年に郡山西ERCで12条の倫理訓を作りロータリーの友に掲載されています。

実践事例

福島大付属養護学校からの要請による就職相談
中国帰国者からの相談受付

米沢の3クラブ合同による女子を含めた就職相談

寒河江の中学校への講師派遣による就職相談
午後の分科会(3部に分かれて実施)

リーダー 斎藤 利明(山形)

副リーダー 山田 昭治(米沢)

「行動計画」立案用紙により話し合い

表彰、職場見学については、大方のクラブで実施している。

職安の所長や大学の先生を招いての職業実態の講和等も実施。

その他職業倫理の面からRC会員に相応しくないものも見受けられるので反省を求める発言もあった。

3部に分かれての話し合い後、各リーダーから状況報告

各部の報告については大同小異であった。

次期米山奨学会委員長 毛呂健士君

財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本の全ロータリアンの支持によりロータリークラブの所在地域(主としてアジア)から勉学または研究のため来日し、わが国の正規の学校又は研究所に在籍する外国人留学生に奨学金を支給して今日に至っております。東京ロータリークラブ創立の父であるよ米山梅吉氏の功績を記念し、その遺徳を永久にしのおぶ事業として、留学生に学資を援助するための基金を設定し、これを米山基金(米山ファンドとも呼ばれた)と名付けたのに始まりませう。

日本の国際的地位の向上にともない広く世界各国の留学生を対象とするようになり、更に1989年度からは、以前にロータリークラブが存在していた国からの留学生にも、一定の限度内で奨学金を支給するようになった。

ここに寄付金納入明細書

253地区寄付金明細書

1990年度地区別奨学生割当数

最後に来年度から253地区が2つに分かれるので今年度は特に今までより多くの寄付金をお願いしたいとの事でした。